

グローバル時代の CSR 法務戦略 —CSR 実務のパラダイムシフトと企業価値へのインパクト—

高橋 大 祐 CMA

目 次

- | | |
|-------------------------|------------------------------------|
| 1. CSR法務とは何か | 5. CSRリスクを軽減するための法的・実務的対応 |
| 2. CSRの企業価値に対する影響 | 6. CSR法務の発展に向けた証券アナリストと弁護士との協働の必要性 |
| 3. 米国の紛争鉅物規制の概要とその実務的影響 | |
| 4. CSR実務のパラダイムシフトの現状 | |

1. CSR法務とは何か

「CSR法務」は造語で、あまり一般的には使用されていない。CSR(Corporate Social Responsibility)とは、企業の社会的な責任を示すものであり、企業の法的な責任と対比的な意味合いを持つ。法的な責任を超えて、さらに社会的な責任を果たすべきという考え方から生まれた言葉である。この社会的な責任と法務がなぜ結びつくのか疑問を持つ人も多いであろう。しかし、最近、CSRの実務においてパラダイムシフトが見られ、CSRは、自主

的な取組みだけに留まらず、一部の分野では、法的義務やそれと同等のレベルにまで進展してきている。その結果、「CSRリスク」、すなわちCSR取組み不足の企業に対する法令違反リスクやレピュテーションリスクが無視できないものとなりつつある。このようなCSRリスクに対する法的・実務的対応としてのCSR法務が極めて重要な法分野になっている。



高橋 大祐 (たかはし だいすけ)

真和総合法律事務所 弁護士。2004年早稲田大学卒業、05年司法修習終了、弁護士登録、現事務所入所。08～09年欧州委員会国費給付奨学生として、ドイツ・ハンブルク大学、イタリア・ボローニャ大学、フランス・エクスマルセイユ大学に留学し、各国から法学修士号取得。09～10年米国フレッチャー法律外交大学院に留学し、国際法学修士号取得。10～11年米国K&LGATES法律事務所。現在、第一東京弁護士会環境保全対策委員会副委員長、日本弁護士連合会CSRと内部統制PT幹事・国際室幹事、日本CSR普及協会環境法専門委員会委員、早稲田大学日米研究機構招聘研究員等。関連論文に佐藤泉＝高橋大祐「サプライチェーンにおけるCSR法務戦略(上)(中)(下)」(商事法務NBL1001・1002・1003号)など。

(本稿は平成26年4月9日に日本証券アナリスト協会で開催された講演会の要旨である。)